

キャベツ（2023年）

試験概要：

- 慣行施肥条件でユートリシャN処理による生育収量への影響を確認した。

試験結果：

- ユートリシャN処理区において1株あたりの重量が増加した。

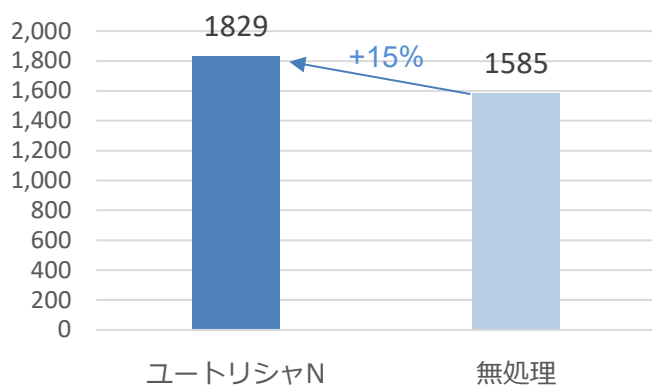
試験設計

	施肥設計	ユートリシャN 散布
試験区①	慣行施肥 180 Kg N/ha	あり
試験区②		なし

- 試験場所：栃木県
- 品種：金系201号 9月21日定植
- 試験方法：慣行施肥区にユートリシャNを1回散布し、無処理区との比較を行った
- 試験規模：1区10㎡、4反復
- 散布方法：移植7日後にユートリシャN（333g/ha）の希釈液（175L/10a）を動力噴霧器で散布した
- 調査方法：12月1日に試験区あたり20株収穫し、重量を計測した

慣行施肥区

■ 20株の平均重量（g）



無処理

ユートリシャN